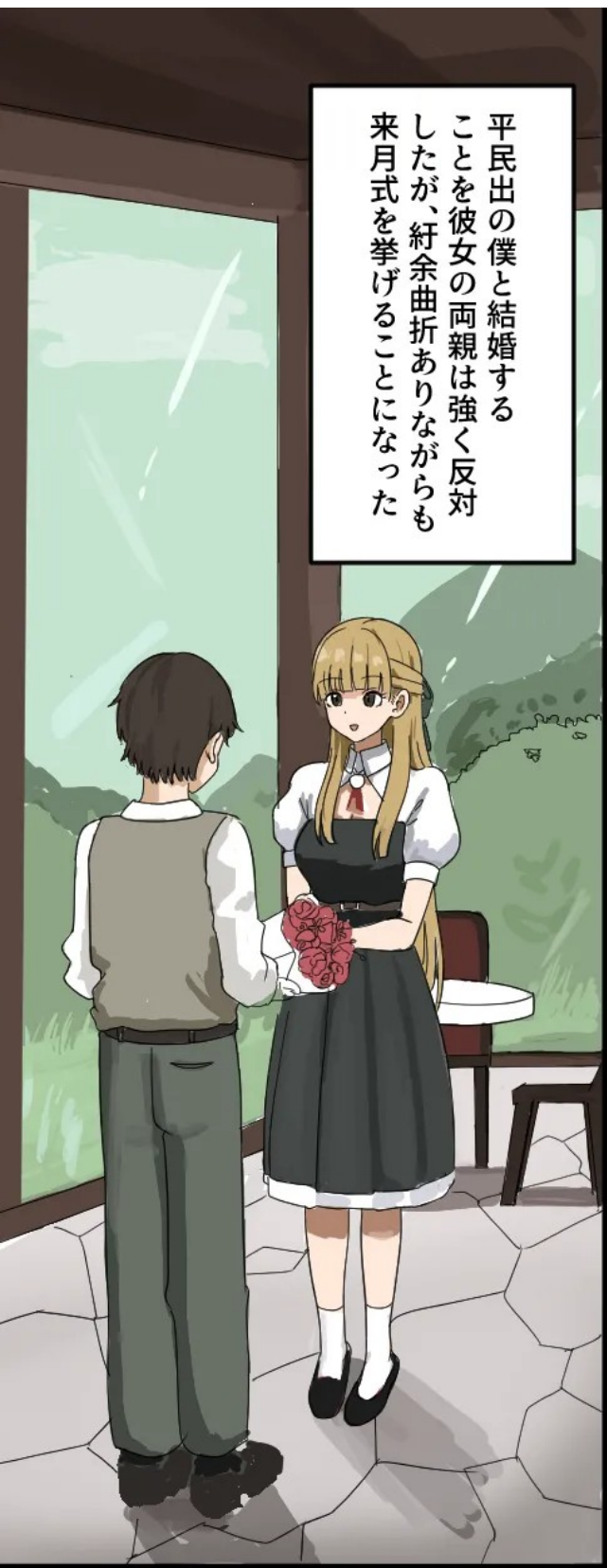


マーガレットと出会って
から四年
貴族と平民という身分の
差を退け、僕たちは結婚
することになった

気品溢れる立ち居振る舞いに僕は
一目惚れしてしまった
他の貴族の男達からの求婚をすべて
断り、僕を選んでくれたのが
なによりうれしかった

平民出の僕と結婚する
ことを彼女の両親は強く反対
したが、紆余曲折ありながらも
来月式を挙げることになった



しかし彼女が街へ出かけた
際、偶然街へ妻探しを
していたクソガキ王子に
見初められ

彼女は急遽
王子の13番目の
妻となってしまった





いい加減浮気をやめないと
僕があつ男に何を
するかわからないんだぞ

お前が隠れてあの男に
手紙を送ってるのは
バレてるぞ

クゥ
クゥ

クゥ
クゥ

ひゅ
ひゅ

ひゅ
ひゅ

クゥ
クゥ

ひゅるひゅる
とひゅ

ひゅ
ひゅ

ぽた

ぽた

お之則は僕の
妻なんだから
浮気は絶対
許さないぞ!!

今誓え!!

はい...

何度か手紙でやりとりを行
脱出を図ったが、しばらくの
音信不通のち、彼女から手紙が届き、
既に王子と交わったこと、
自分のことは心配しなくて
いいということだけが書かれていた

無力な自分と、彼女と王子が
交わった事実吐き気がした
それから僕が何度手紙を
送っても、彼女から手紙が
送られてくることはなかった

一生僕とだけ
交尾するって
誓え!!!

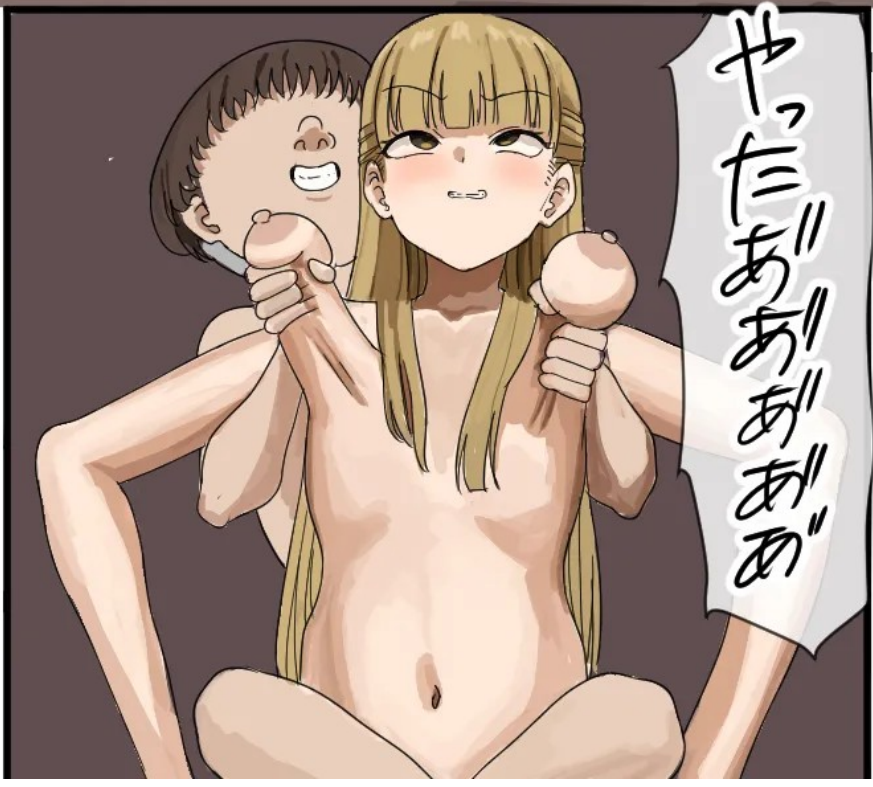
.....



私は...

夫である
クソガ一機王子とのみ
交尾することを、一生涯
掛けて誓います

やったああああ



オラッ!! エ、エとビビッ
まで運べ!!

エ、エ、まんニ使
倒してやる!!

およそ彼女に人権はなく、
一日中王子のおもちゃ
として扱われた

子供にしては異様に
大きいチンポをもつ
王子に、獣のように
毎日ハメられ続け

マーガレットは
抗うことをやめ、
快楽に身を委ねていった



何の力もない僕には
彼女を救うことはできず、
そのまま数ヶ月が経った

ある日彼女から複数枚の
写真と手紙が送られてきた

僕が憧れた彼女の姿はそこにはなく、
お腹を膨らませた、只々下品な女と
その女の肉体を貪る王子の姿が
映っていた

手紙には王子との営みが詳細に書かれて
おり、僕は読むことができなかつた…
そして文末には「私のことは忘れて、どうか
幸せにお過ごしください」とだけ、乱雑な
文字で記されていた

